

関西広域連合委員会におけるカーボン・オフセットの実施について

関西広域連合では、低炭素社会づくりの取組の一環として、カーボン・オフセット制度の普及等、クレジットの広域活用について取り組んでおり、今年度、関西広域連合委員会の開催に伴い排出される温室効果ガスを“実質的にゼロ”とするカーボン・オフセットの取組を夏季、冬季の2回実施しました。

1 オフセットを実施した会議

- (1) 日 時 夏季：平成27年9月27日（日）、冬季：平成27年12月24日（木）
- (2) 会 場 大阪府国際会議場（夏季、冬季とも）
- (3) 参加者 関西広域連合構成府県市の首長ほか関係者

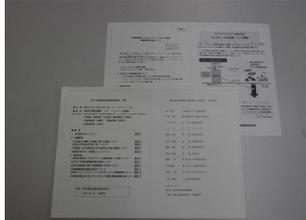
2 カーボン・オフセットの取組概要

(1) オフセットの対象（何をオフセットをしたのか）

- ・ 府県庁等から会場までの職員の移動に伴うCO₂ 排出量
- ・ 会場の空調、照明等に伴うCO₂ 排出量
- ・ 会議資料の使用に伴うCO₂ 排出量

(2) CO₂ 排出削減等の取組

夏季においては、関西広域連合「夏の節電アクション」を実施するとともに、冬季には更なる環境負荷削減を実施。

夏季	冬季
<p>○ 夏の節電アクション</p> <ul style="list-style-type: none">・ 適切な室温設定、クールビズ	<p>○ 冬の節電アクション</p> <ul style="list-style-type: none">・ 適切な室温設定、ウォームビズ <p>○ 資料の集約印刷</p> <p>○ カーボン・オフセット付きコピー用紙の利用</p> <p>○ マイボトルの利用</p>
 <p>(当日の会議の様子)</p>	 <p>(当日の会議の様子・マイボトル持参)</p>  <p>(資料の集約印刷)</p>

(3) 使用したクレジット

夏季	693kg-CO ₂	関西広域連合管内で創出された森林吸収系クレジット(*1)1tでオフセット
冬季	626kg-CO ₂	関西広域連合管内で創出された削減系クレジット(*2)1tでオフセット
比較	▲67kg(約10%削減)	

*1… 徳島県那賀郡那賀町における森林吸収源事業

*2… 大阪府キンキ寝具株式会社における低温廃熱回収・利用技術を利用した温室効果ガス排出削減事業

3 取組の広報

○ 会議開催前のプレスリリース

**平成27年9月27日 広域連合委員会
“カーボン・ゼロ会議”として開催！**

関西広域連合では、低炭素社会づくりの取組の一環として、クレジットの広域活用に取り組んでいます。
このたび、「広域連合委員会」の開催に伴って発生するCO₂をカーボン・オフセット※することにより、「カーボン・ゼロ会議」として開催し、地球温暖化対策の推進に貢献します。

※ 自己の活動による温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収により創出された削減量等(クレジット)を購入してオフセット(埋め合わせ)することを行います。市民や事業者等が主体的に地球温暖化対策に貢献できる手段の一つです。

カーボン・オフセットのイメージ

○ “カーボン・ゼロ会議”は、関西広域連合の「夏の節電アクション」「冬の節電アクション」に合わせ、各1回ずつ実施します。
○ 次回実施時(平成27年12月予定)は、業約印刷による紙の削減やカーボン・オフセット商品の利用などに取り組む予定です。
○ 取組結果は連合ホームページに掲載するとともに、カーボン・オフセットの促進のための取組事例として活用していきます。

関西広域連合 広域環境保全局
Kansai Wide Area Environmental Conservation Bureau

**平成27年12月24日 広域連合委員会
“カーボン・ゼロ会議”として開催！**

関西広域連合では、低炭素社会づくりの取組の一環として、クレジットの広域活用に取り組んでいます。このたび、「広域連合委員会」の開催に伴って発生するCO₂をカーボン・オフセット※することにより、“カーボン・ゼロ会議”として開催し、地球温暖化対策の推進に貢献します。

※ 自己の活動による温室効果ガス排出量のうち、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収により創出された削減量等(クレジット)を購入してオフセット(埋め合わせ)することを行います。市民や事業者等が主体的に地球温暖化対策に貢献できる手段の一つです。

カーボン・オフセットのイメージ

○ “カーボン・ゼロ会議”は、関西広域連合の「夏の節電アクション」「冬の節電アクション」に合わせ、各1回ずつ実施します。
○ 今回は紙の削減など独自のCO₂排出削減の取組により、排出量が夏季と比較して約8%減少する見込みです。
○ 取組結果は連合ホームページに掲載するとともに、カーボン・オフセットの促進のための取組事例として活用していきます。

5 カーボン・オフセット宣言
夏季の会議(9月27日開催)に伴って発生した、約700kg-CO₂は、関西広域連合で創出された森林吸収系のクレジットでオフセットしました。今回の取組は環境省の「カーボン・オフセット宣言」登録しています。
<http://j-cof.go.jp/sengen/>

関西広域連合 広域環境保全局
Kansai Wide Area Environmental Conservation Bureau

○ 「カーボン・オフセット宣言」の実施

- ・ 環境省の「カーボン・オフセット宣言」として登録を行い、PR
<http://j-cof.go.jp/sengen/>

○ 特定地域協議会との連携

- ・ 特定地域協議会「近畿Jークレジット推進協議会」(事務局：大阪府みどり公社)の有する専門的ノウハウの活用など、サポートを受けた。
- ・ 同協議会において、関西広域連合「カーボン・ゼロ会議」をHPを通じて情報発信
<http://osaka-midori.jp/carbonoffset/>